

超高感度デジタル ELISA を用いた精神疾患バイオマーカーの開発研究

1. 研究の対象

下記のいずれかに該当される方

- ・ 2013 年 12 月以降に研究課題「脳脊髄液を用いた認知症診断マーカーの臨床的有用性の検討」の研究について説明を受け髄液の提供に同意された方

- ・ 2013 年 12 月以降に研究課題「認知症の関連遺伝子探索研究」の研究について説明を受け血液の提供に同意された方

- ・ 大阪大学の職員で、大阪大学キャンパスライフ健康支援センター（旧称：大阪大学保健センター）にて職場の健康診断を受けられた方

2. 研究目的・方法

血液中に含まれるごく小さな粒子を取り出す方法を開発し、さらにその中に含まれる微量の物質を調べることで病気の診断や重症度などの手掛かりになる物質を見つけるための研究です。採血の際に余分に採らせていただいた血液や、検査後に余った髄液などを用いて、これまでの 1000 倍の解析精度がある機器を用いて新しく研究を行なっています。

2019 年 3 月から 2022 年 3 月までの予定で行われています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断病名、治療内容、検査結果、年齢、性別、カルテ番号 等

試料：血液、髄液

4. 外部への試料・情報の提供

前の項目で使用した情報・試料及び研究で得られた解析結果は次の項目に記載されている共同研究機関と共有します。この際に多数の情報をまとめて統計処理した情報については暗号化したファイルの形で電子メールにて共有することがありますが、個別の情報を共有する場合には匿名化、暗号化した形にした上で USB メモリやディスク媒体などを使っての受け渡しを行います。いずれの場合も特定の関係者以外が情報にアクセスできない状態で行います。

5. 研究組織

大阪大学・工藤喬

大阪大学・池田学

大阪大学・永井義隆

量子科学技術研究開発機構・徳田隆彦
東京大学・間野達雄
東京都健康長寿医療センター・岩田淳
慶應義塾大学・三村將
慶應義塾大学・加部泰明
国立長寿医療研究センター・里直行
順天堂大学・新井平伊
国立精神・神経医療研究センター・水澤英洋
理化学研究所・大武美保子

既存試料・情報の提供のみを行う機関
サンパウ病院（スペイン）Daniel Alcolea Rodriguez

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号
大阪大学医学部附属病院神経科・精神科 金山 大祐
電話：06-6879-5500（大阪大学医学部附属病院神経科精神科・外来）
メール：mhpooffice@wellness.hss.osaka-u.ac.jp

研究責任者：

大阪大学大学院医学系研究科精神健康医学講座 工藤 喬

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科精神健康医学講座 工藤 喬